

日本人を知るには日本の伝統や歴史を知ることが一番早道。日本の歴史を知るツアーを開催している外国人グループがある。世田谷区のジャパノコミュニティセンター(JCC)だ。歴史を知れば、日本の生活習慣にとどまらず、背景にある価値観、精神まで理解でき、楽しい生活を送れるという。

代表の平田リンダさんは香港育ちの中国人。平成21年、日本人の夫の転勤に伴い来日。翌年春、JCCを立ち上げた。

22年8月に、江戸時代の古民家がある世田谷区の次大夫堀公園の民家園でツアーを開催。日本の歴史を学ぶアメリカ人大学生を講師に、中国、台湾、インド、アメリカなどの在日外国人と日本人約30人が参加した。

「古民家で見たいのりは、こたつにそっくり。今と昔の生活がつながっていることを知り興味深かったと参加者から好評でした」と平田さん。

日本人と結婚し、日本のことを理解していたつもりで平田さんも、住んでみると、日本人や日本文化への戸惑いがあったと

## 日本人を知る歴史ツアー

世田谷の外国人グループ「生活が楽しく」



という。

ツアーで、農民が年貢納めなどのために連帯責任を負う江戸時代の「5人組制度」を知り、集団で行動する日本人の性格が理解できたという。

「自分の意見を言っていて個人で行動すると仲間外れになるかもしれない。そんななかで、奥ゆかしい性格が形成されるのは当たり前。個人主義の国で育て

ば、はつきり物を言う性格になる」。環境が性格を作ると改めて感じたという。

「日本の『おもてなし』は、相手のことを細かく考えられるホスピタリティーで、素晴らしい文化。外国では自己責任のもので『自分は自分』で終わってしまうのに」

ツアー以外にも、正月など伝統行事を知るイベントを不定期で開催している。平田さんは「互いの文化を愛だな、と思うのではなく、理解し合うことで在日外国人は日本で生活しやすくなり、日本人は日本を再発見できる」。

26日には江戸東京博物館などを巡るツアーを実施し、参加者を募集中だ。参加費は大人800円、小学生以下無料。解説は、英語、中国語、日本語。希望者はjapancommunity2010@gmail.comへ。

「ジャパノコミュニティセンター」代表の平田リンダさん(右)とメンバー

世田谷区